

# 12月の県内景況は、例年よりも早い降雪、 低気温による影響が随所にみられた模様。

情報連絡員による平成26年12月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は10.2%（前月比-6.5）となっており、「横這い」は42.4%（同+7.4）、「低調」とするところが47.4%（同-0.9）、業界全体の「景況感 DI」は-37.3（同-5.6）となっています。

## 1. 全産業の項目別前年同月比 DI 値の動き

◇「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」の項目において前月と比較して減少しています。

## 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、建設業は「晴れ」、鉄工機械製造業、その他製造業、サービス業は「曇り」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、やや悪化、悪化の見込みは、33.9%（前月比+18.9）と増加しております。好転、やや好転の見込みとの回答が8.5%（前月比-16.5）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答5件）（製造業3、非製造業2）。また、変わらないが、57.6%（前月比-2.4）と減少しております。

平成26年12月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率98.3%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	85.71	-42.86	0.00	28.57	28.57	-42.86	14.29	-14.29	14.29	-28.57	28.57	-42.86
繊維製品製造	0.00	0.00	0.00	-33.33	0.00	-33.33	0.00	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33
木材木製品製造	0.00	-100.00	0.00	-25.00	0.00	-100.00	25.00	-50.00	0.00	25.00	0.00	-100.00
鉄工機械製造	40.00	-60.00	0.00	20.00	-20.00	-40.00	0.00	0.00	-20.00	-40.00	0.00	-20.00
その他の製造	-14.29	-14.29	0.00	42.86	-14.29	-14.29	0.00	0.00	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29
卸売業	50.00	-25.00	0.00	0.00	0.00	-50.00	-25.00	-25.00	0.00	0.00	0.00	-50.00
小売業	11.11	-55.56	11.11	-22.22	-44.44	-55.56	-11.11	-33.33	0.00	0.00	-33.33	-44.44
商店街	20.00	-40.00	-20.00	0.00	0.00	-40.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	-20.00	-60.00
サービス業	14.29	-57.14	14.29	14.29	-14.29	-42.86	0.00	-14.29	28.57	14.29	-14.29	-28.57
建設業	-20.00	20.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	20.00
運輸業	66.67	33.33	0.00	33.33	33.33	0.00	0.00	0.00	0.00	-66.67	0.00	-33.33

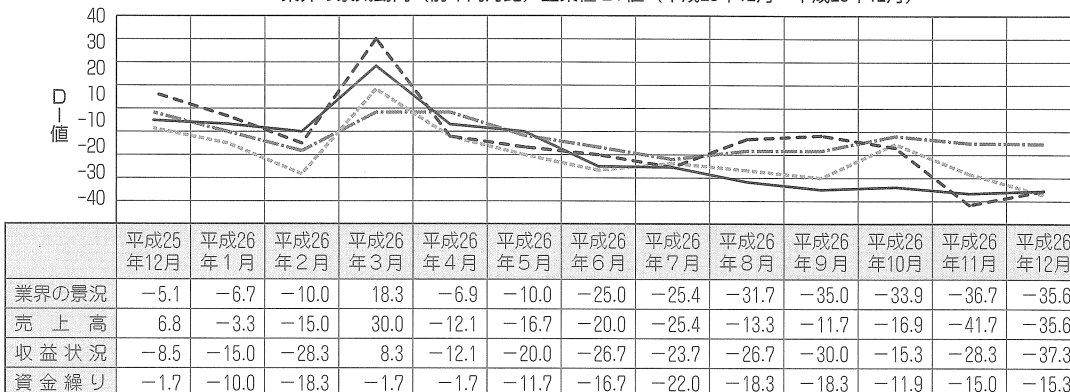
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（DI値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

#### DI値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすくもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種 DI 値（平成25年12月~平成26年12月）



## 食料品製造業

### <漬物>

12月はお歳暮で忙しいが、1月からは厳しくなる。円安で原料が高いため利益が悪化するだろう。

### <味噌醤油>

主原料を海外に依存しているため、円安により高い価格で推移している。依然として製造コストアップが厳しい状況。出荷量は醤油、味噌ともに低迷が続いており、さらに風評被害も深刻である。

### <酒造>

売上高は減少しているが、収益は良好となっている。ただ地域間、企業間での良し悪しが目立っている。

### <食品団地>

原料、副材料の高騰が続き、4月からの消費税増税と円安の影響により収益は厳しい状況である。特に食品業界においては、「原点回帰」をテーマに新たなブランディング必須となっている。

## 縫製品・同製品製造業

### <ニット>

円安の影響もあり、原料が値上がりしており今後が心配である。

### <縫製品>

百貨店等小売段階での売上が低調である。その影響により、さらなるコストダウンの要求や受注数量が減少傾向。12月から1月にかけては夏物の生産時期に入るのでやや好転するのではないかと期待している。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

丸太の出材は順調であるが、製品市況が低調なことから、製材工場では必要なものを手当てする当用買いに徹している。しかし今後は円安の影響で外材製品の入荷が少なくなっていることから、国産材製品の引き合いが増える可能性もある。

### <外材輸入>

国内需要は低迷したままであるが、さらなる為替円安要因により輸入コストは上昇。製品への価格転嫁が後追いであり、採算的に厳しい状況が続いている。

## 紙・紙加工品製造業

### <紙器・段ボール>

人手不足は深刻である。しかし、最近になって高級志向により貼箱業界が脚光を浴びるものとなり今後は大いに期待される。

## 印刷業

### <印刷>

印刷業界全体の仕事が減少しているようだ。大手各社も受注減のようでは競争が激しくなっている。

## 窯業・土石製品製造業

### <陶磁器>

雪が降ったため客足がとどえた。1月も同じと思われる。

### <碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約7%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約12%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約17%の増

4. 原因・状況 先月に引き続き、除染工事関連と霊山道路・生コン工場への納入割合が多い。

### <生コン>

平成26年12月の組合員生コン出荷数量は、174,327 m<sup>3</sup>と対前年同月比5.3%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比7.7%の増、官公需が4.8%の増であった。

#### ■民需の動向

対前年同月比 7.7%の増

#### ① 対前年同月比増加地区

<県中地区> 6.6%の増

マンション新築工事、須賀川病院建設工事、工場増築工事等

<白河地区> 11.4%の増

工場新築工事、東北道中央防護柵更新・橋梁補修工事等

<いわき地区> 6.7%の増

いわき物流センター建設、工場増設、県漁連冷凍冷蔵施設建設工事等

<相双地区> 14.0%の増

原発保安対策工事、給食センター建設、広野火発消波ブロック工事等

<会津地区> 27.7%の増

会津中央病院増築工事、老人福祉施設建設工事等

#### ② 対前年同月比減少地区

<県北地区> 9.4%の減

シニア施設ビル建設、老人ホーム建設工事等

#### ■官公需の動向

対前年同月比 4.8%の増

#### ① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 9.7%の増

霊山トンネル、伊達町仮設焼却炉、福大図書館新増築工事等

<県中地区> 38.3%の増

郡山市中央公民館工事、環境創造センター、復興公営住宅建設工事等

<いわき地区> 11.9%の増

小名浜港東港地区護岸築造外工事、復興公営住宅建設工事等

<相双地区> 5.4%の増

海岸保全施設整備工事、富岡町・浪江町減容化施設工事等

#### ② 対前年同月比減少地区

<白河地区> 12.7%の減

白河市民文化会館建設、白河中央中学校、新石川小学校建設工事等

<会津地区> 44.8%の減

鶴城小学校新築工事、湯川村役場新築、復興公営住宅建設工事等

## 鉄鋼・金属・一般機械製造業

### <鉄工>

(県中地区)

建設関連の業者は笑顔が多かった。建設関連以外は先行き不安の声がきかれた。

### <各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、工事量及び見積引合とも今月は微増したものの、工事量では月平均値および累計において前年比には追いつけない状態である。したがって、売上高・収益状況ともまだまだ厳しい状況が続くそうである。

## 卸売業

### <卸売業>

(県中地区)

年末商戦に関しては、おおむね例年並みで目立った動きは感じられなかった。一方、急激な原油安が進行し、流通業者にとっては歓迎ムード。業種によってバラツキはみられるが、全体としては人の採用を増やしている企業が多い。同時に人手不足感が強まっている。産総研との取引も少しずつ見受けられるようになってきた。

### <再生資源>

昨年12月は例年になく雪が多く、通常増加するはずの古紙発生に影響があった。需要についても低調であったが、輸出価格は円安の影響から強ふくみで国内価格を引っ張る形になり値上げ傾向になった。今後、需給の低下はさらに続く見込みで、年明け以降、推移を注視していかなければならない。

## 小売業

### <共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

12月は、前月比で来店客数、売上が増加した。前年比は売上、来店客数とも10%以上の実績減となった。実績を落とした最大の要因は、消費税増税であると考える。

(県中地区のNショッピングセンター)

米価の低下による地域内消費者(商圏世帯中70~80%が農業に関わりを持っている)の購買意欲の低下を実感している。今年早々から実施される大手メーカーの値上げラッシュとあいまって、さらなる消費の落ち込みが予想される。

### <石油>

12月は大幅に元売仕切が下落した。このため市場価格も下落となったが、元売の下げ幅以上に市場が下落し、採算割れの厳しい状況となっている。

### <青果>

12月に入るも前月から続く低価格が影響し、売上が伸びず、取扱が昨年と比べ減少した。年末にかけて少しは単価が上昇したのものもあるが、元旦より営業する量販店の影響もあり、小売店の営業も厳しい状況となった。

### <電機>

太陽光などの創エネギーやリフォーム関連を手掛けている店を除いては大変厳しいのではないかと。創エネ関連に力を入れている店は約2割で8割は従来通り家電中心の販売・修理を主にしている店である。全国電商連では創エネ関連に取り組むよう働きかけているが、電気店の規模で差がでている。

## 商店街

### <福島市>

福得商品券事業が始まり、多くの市民が商品券を活用し、若干は活気があったように感じるが、実際には既存のお客様が現金の代わりに使用するだけで、来客(来街)数は大して変化はない。天候や師走の選挙など、外的な要因は色々であろうが、全体として、年末らしさというものが感じられない12月であった。

### <郡山市>

12月は、11月の伸び悩みがそのまま続いてきたようだ。ただ、今年の悪天候が郡山にはなかった分、前年比は保てた。このままでは、今後の冬物セールの見通

しも厳しいものがある。何か起爆剤があればいいのだが、なかなか見つからず、具体的な施策がたてられないのが現状。

### <南相馬市>

商店連合会主催のスピードくじ「得だねくん」はその場で5円10円500円が当たるイベントで年末恒例となっており、地元のお客様に喜ばれている。参加店とお客様とのコミュニケーションツールとしておもしろいものと思っている。多くの参加店を得て、なんとかにぎわった。

### <会津若松市>

例年よりも雪が早く降ったため、客足が伸びなかった。クリスマスイルミネーションは小規模ながら好評だった。セールは例年よりも早くなったが、出足はまらずだった。

## サービス業

### <クリーニング>

クリーニング業界は相変わらず需要減少、人材不足が続いており、社会構造、高齢化等の影響によりますます増大するばかり。近年経営努力によって差が出てきている。

### <旅館業>

(土湯温泉)

例年より降雪が早く、気温の低い日が続いたので、12月としては人出が少ない。年末の宿泊入込は例年並みで、正月3日までほぼ満室の予約が入っていた状況であった。ただ、年末に原子力発電所事故の賠償打ち切り案の報道がされるなど平成27年度に向け、観光業としては不安と不満が募る。

### <理容業>

暮れの忙しさに期待したが、寒い日が続いたせいか、客足は鈍かった。各店売上が落ちていたようで、一昨年の暮れより暇だったという店が多かった。なんとか景気が良くなり売上増を願ってきたが…。調髪をして正月を迎える以前のような風習も年々薄れていく。盆、暮れの忙しさを期待する時代もなくなるのではないかと。寒いとどうしても周期は伸びるし1月、2月もそれほど期待できないだろう。

### <廃棄物収集運搬業>

事業の動向については、組合員にばらつきはあるものの、各々の方向を決め災害からの立ち上がりの状況は先の方向が見えてきている。現在は新たな事業に対しての人員不足が最大の課題になっている。

## 建設業

### <建設業>

(県一円)

東日本建設業保証㈱の「建設業の財務統計指標(平成25年度決算分析)」によると、福島県の収益性の売上高経常利益率は3.82%と東日本平均1.24%を上回っており、生産性の一人あたりの付加価値は1,015万円と東日本平均884万円を大きく上回っており、復興需要で高位に推移している。

(県南地区)

土木工事が減少したままであるが、建築工事も若干減少傾向にある。除染業務が主な売上となっているが、冬期間に入り、積雪により進捗が悪くなってきている。よってフレコン、砕石、山砂の不足が解消されている。

### <管工事>

前月比で給水設備申請が増加、排水設備申請は減少。

前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも減少している。

#### <専門工事>

師走の衆議院選挙が終了した。信任できる政党不在の中、自民党一人勝ちの結果となったのは当面の政局安定のためには意味があるのではないかと感じる。震災後3年半が経過し、5年という区切りも目前に迫っている中、復興事業の最後の追い込みがきちんとした収め方にならないと、急激な仕事量の減少に業界全体が対応できないのではないかと危惧する。反面、福島市では住宅除染を平成27年末までに全棟終了させるという方向性を打ち出しているが、物理的・経費的に十分賄える目途があるのが不透明であり、締めの前に頓挫しないことを祈るばかりである。

## 運輸業

### <トラック運送>

(県北地区)

燃料費はさらに下がったため、収益面は燃料値上がり前に戻りつつある。しかし、燃料価格は依然不安定であるため楽観視できず、今後の動向を見定めながら運賃等の値上げ交渉をしていきたい。

(県中地区)

燃料価格が下がったことで、収益状況に若干の好転が見られてきた。

### <ハイヤータクシー>

雪の影響で少し動きがあったが、全体としては低調傾向が続いている。

## 県政ピックアップ

2015. 2

# 福島県内の中小企業者のための 事業引継ぎ支援セミナー・相談会のお知らせ

このようなお悩み、ご相談はありませんか？

- ・後継者がいない。会社を継続していいのか。
- ・後継者が決まっているが、どのように承継するのがよいのか。
- ・事業を引き継いでもらい、従業員の雇用を確保したい。

公益財団法人福島県産業振興センターでは、事業承継、事業引継ぎのお悩みについてのセミナー・相談会を開催します。

事業引継ぎのお悩みをお持ちの事業者の方は、この機会をぜひご利用ください。  
セミナー、相談会とも参加は無料です。

日	時	場 所	申込締切
平成27年 2月18日(水)	13:30~17:00	いわき産業創造館 会議室1 いわき市	2月13日(金)
平成27年 2月19日(木)	13:30~17:00	郡山商工会議所 4-1会議室 郡山市	2月13日(金)
平成27年 2月23日(月)	13:30~17:00	コラッセふくしま 小会議室402 福島市	2月16日(月)
平成27年 3月5日(木)	13:30~17:00	会津アピオ 2階会議室 会津若松市	2月26日(木)

#### ○内容

- 1 「円滑な事業引継ぎの進め方」 (講師：宮城県事業引継ぎ支援センター統括責任者)
- 2 「事業承継関連融資の活用について」 (講師：日本政策金融公庫国民生活事業東北広域営業推進室)
- 3 個別相談会

#### ○定員 30名

○お問合せ 福島県産業振興センター郡山事務所 TEL 024-954-4163

○ホームページから申し込みできます。 <http://www.utsukushima.net/>

福島産振

検索